

## 平成24年度支部活動計画

- (1)、支部活動のスローガン・『楽しくなければ同窓会じゃない。楽しくやろう同窓会』を合言葉に親睦を大切に、一人一人の気持ちを大切に、若い人の参加を図り先輩の人生経験を引き継いでいく活動を展開していく。また、同時に多種多様な『楽しさ』を分かち合える同総会活動になるように努める。
- (2)、昨年の東日本大震災は未曾有の大災害を日本列島にもたらした。  
その中で日本人の体験は日常性の大切さを改めて認識し、同時にリスクを予測し対応を図ることが如何に大切かを教えてくれた。  
その後の列島の状況は異常気象のもとで竜巻迄もが発生するような気象になっている。  
いつ、どこで、どのような災害に遭うか予測できない状況の中で、同窓という仲間の連帯を大切に、心寄せ合い、いつでもどこでも明るく同窓の仲間と支え合える活動と支部づくりに努めて行く。
- (3)、母校発展のために寄与する
  - ・母校の発展を願い、母校で行なう行事には積極的に参加をする。
  - ・また、新潟大学東京事務所の活動に積極的に参加をしていく。
  - ・これらの活動は、世の中に出て活躍している同窓生を励まし、同窓の若い世代の活躍に貢献する事となる。
- (4)、支部活動の発展を目指して
  - ・企業幹事を重視し、改めて幹事を決めていく。
  - ・支部活動の目玉的活動であるウォーキングを継続して行なう。
  - ・若い世代に役員に入って頂き、若返りを図りつつ支部役員の充実を目指す。若い世代への働きかけを強め、楽しい役員会を開催していく。特に拠点企業への働きかけを強める。
  - ・リニューアルなった埼玉支部ホームページの活用を図り、一層の充実化を図る。
- (5)、近隣支部との交流
  - ・近隣支部との交流は支部活動の発展にとって意義あることです。
    - ①他支部総会に参加し、
    - ②他支部が計画する活動に参加し、
    - ③特にゴルフ、囲碁、ウォーキング等の他支部活動に積極的に参加し交流を図る。
    - ④特にゴルフについて一つの具体的提案が行われている。その提案を実行する。
    - ⑤東京支部が毎年開催している悠久会首都圏支部新年会に積極的に参加する。
  - ・首都圏には医学部同窓会、農学部同窓会、理学部同窓会が独自の同窓会活動を行っている。  
また、教育学部でも首都圏同窓会結成の機運が盛り上がりつつある。  
このような他学部の同窓会の可能な活動に参加し、他学部の同窓生との交流を図り、ひいては首都圏における全学的同窓会の発展に寄与する。
- (5)、出会・再会横浜ベイサイド総会への参加
  - ・近隣支部のお世話で開催する総会であり、距離的にも近いことから、日帰り参加を働き掛ける。
  - ・支部役員は積極的に参加する。
  - ・クラス会を組織し大勢の参加を呼び掛ける。